

防災かまどベンチ実行委員会(平群町)

項目	内容
地域の特徴	
設立年月日	平成25年2月27日
設立のきっかけ	1995年に発生した「阪神淡路大震災」での教訓を生かし発案されたもので、普段は「ベンチ」として災害時は炊き出し用の「かまど」として利用できる防災施設であり、「かまどベンチ」について神戸市より情報入手した。また、「東日本大震災」被災者の方々の体験を聞いたことで、一層の防災意識を高めること、みんなでベンチを作っていくことで共助の意識を高めようとボランティア団体を中心に設立を提案。
目的・キャッチフレーズ	当該実行委員会の取り組みは、単に「防災かまどベンチ」の設置(製作)ではなく、「自分たちのまちは、自分たちで守る」という「共助」の活動であり、地域の絆を深め安全で安心なまちづくりに貢献していくこと。
主な活動内容	
◇防災活動	町内指定避難所へのかまどベンチ設置や他団体への研修の他、かまどベンチを使用した炊き出し訓練や啓発活動をおこなっている。
◇防災と一体的にとりくんでいる活動(防犯・美化・福祉など)	
◇その他特徴的な活動	地域での様々な行事等を通して、地域住民との交流を図る。
主な連携先(行政・学校・企業・近隣の団体など)	平群町ボランティア連絡協議会(加盟14団体)、平群町総務防災課、平群町教育委員会、平群町社会福祉協議会、平群町自治連合会